

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	D 建設・整備事業	
事務事業名	原池公園事業				シート番号	019-085	
担当部署名	建設	局	公園緑地	部	公園緑地整備	課 評価責任者(課長名)	三好

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け	
			施策	6	良好な居住環境の形成	有	
	2	事業開始年度	平成 6 年度		終了(予定)年度	令和 3 年度	
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	都市計画法、都市公園法、堺市公園条例				
	4	関連計画	社会資本総合整備計画(堺市における快適な生活環境の整備(第3期))、緑の基本計画、スポーツ推進計画、都市計画マスタープラン、地域防災計画				
5	事業実施の経緯	昭和40年に運動公園(計画決定面積:17.5ha、事業認可面積:17.5ha)として計画決定。昭和58年に都市開発資金による用地先行取得を開始し、平成6年に事業着手(事業認可)。第1期区域(3.7ha)は、平成15年度より工事に着手し、体育館が平成19年4月開設。第2期区域(3.7ha)は、平成19年度から工事に着手し平成22年度に完了。平成26年度末に事業認可を拡大した。					

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	スポーツレクリエーション活動を主とした市民及び市外からの来園者				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	スポーツ・レクリエーション活動の場及び生涯健康づくりの場として、また災害時の広域避難地としての役割を担う運動公園とするため、野球場の建設及び周辺の公園整備を実施するもの。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	原池公園[第3期]事業 (内容) 野球場の建設により運動公園としての機能を充実させ、併せて、防災機能の拡充も図るもの。 (実施方法) 独立行政法人都市再生機構への委託により、事業を進めるもの。 (スケジュール) 平成29年度から令和3年度 平成29年度 造成工事 平成30年度 野球場建設工事着手 平成31年度 野球場建設工事完了、公園整備工事 令和 2年度 野球場供用開始、公園整備工事 令和 3年度 公園整備工事 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
10	直接実施以外の主な支出先	独立行政法人都市再生機構					

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費(a)	千円	2,071,166	1,235,921	1,025,528	131,807	2,495,638	2,235,172	759,274	
主な事業費内訳	用地取得	千円	486,300	49,253	1,020,000	130,394	1,685,638	1,551,592	402,000
	委託料	千円	1,577,000	1,177,111			810,000	682,016	352,000
	水道加入負担金	千円	1,838	6,999					
	手数料	千円	4,753	1,629	5,528	1,413		1,565	5,274
	国・府支出金	千円	662,600	415,000	340,000	40,000	200,000	124,000	273,000
	財源内訳	千円							
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
市債	千円	1,174,200	673,000	612,000	79,700	1,751,600	1,600,700	420,000	
その他(基金繰入金)	千円	234,300		73,500	12,100	540,000			
一般財源	千円	66	147,921	28	7	4,038	510,472	66,274	
12 人件費(b)	千円	7,780	7,780	5,740	5,740	5,670	23,570	35,300	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	2,078,946	1,243,701	1,031,268	137,547	2,501,308	2,258,742	794,574	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	原池公園事業	シート番号	019-085
-------	--------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績							
活動実績と成果	14	原池公園事業は、平成29年度から工事に着手している。 事業の推進に必要な委託先(独立行政法人都市再生機構)との実施協定に関する事務や国費に関する事務、及び令和2年度公園整備工事の発注に必要な協議を実施した。 また、事業全体の調整を行い、スポーツ部所管の野球場建設工事を令和元年度に完成させ、令和2年4月1日から供用開始した。					
	15	定性的な目標 令和3年度の事業完了をめざす。					
	16	目標に対する実績 令和3年度の事業完了に向け、必要となる協議調整を実施した。	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			評価				

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19	委託先(独立行政法人都市再生機構)との調整を密に行うことで、事業完了に必要な出来高進捗を確保できた。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	原池公園事業	シート番号	019-085
-------	--------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 本事業は、令和3年度に完了予定の事業であり、市民等への影響を考慮して事業途中で止めることはできない。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 同上	休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 施設整備のグレードを見直すことで縮減は可能。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 屋外での作業であることから、3密を避けながらの事業実施が可能であるため。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明	すでに国との連携により、国費を充当して整備している。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見	施設整備のグレードを見直すことによりコストの縮減を図る。 ただし、本事業は、広域避難地としての機能確保を目的としているため、財政状況を鑑みたと、今後も継続して実施する。		